

北海道社会学会ニュース

H.S.A. NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目

クワガタビル北海道NPOサポートセンター気付

FAX: 011-261-6524

E-mail: socio@npo-hokkaido.org 担当 松本

郵便振替口座 02760-3-3085

編集責任者：小内 透（庶務理事） 北海道大学大学院教育学研究科 (onai@edu.hokudai.ac.jp)

〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 TEL & FAX 011-706-3093

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION

c/o Hokkaido NPO Support Center,

Kuwagata Bldg., Minami 2 Nishi 10, Chuo-ku,

Sapporo, 060-0062 JAPAN

Newsletter Editor: ONAI Toru

URL <http://www.soc.nii.ac.jp/hsa/>

会員名簿の作成について

従来、会員名簿は2年に一度、1月に発行していましたが。今回から、4月以降の異動の情報を反映させるため、発行の時期をずらすことにしました。同封の葉書に必要な事項を記入の上、4月10日（火）までに返送して下さい。記入する情報は4月以降のものにして下さい。

また、今回から名前、専攻領域、所属以外については、個人情報保護法にのっとり、公開の可否をお尋ねする形にしました。公開に関して否とされた項目は名簿上では空白にします。ただし、学会運営上必要となるため、名簿上での非公開を希望される情報についても、記入して下さい。

なお、専攻領域は、このニューズレターの末尾に掲載した専攻領域分類表の番号を用いて記入して下さい。

選挙管理委員会から

4月に北海道社会学会の会長・副会長、理事、監事の選挙を実施します。任期は2年で、理事は現在の理事から総入れ替えになります。会長より委嘱された3名の会員（理事会報告参照）により選挙管理委員会が発足し、互選で中田知生会員が選挙管理委員会委員長に就任しました。4月になりましたから、被選挙人の名簿と投票用紙の送付を行います。

2006年度の学会費をまだ払っておられない方は至急払い込まれるようお願いいたします。3月末の時点で学会費振り込み状況を確認した上で、被選挙人・選挙人名簿の作成を行います。

第55回北海道社会学会大会について

2007年6月16日（土）17日（日）の2日間、北海道武蔵女子短期大学にて開催される予定です。今回のニュースには、シンポジウム、一般報告（自由報告）の案内の記事が掲載されています。お見逃しのないようお願いいたします。また、報告希望の方は申込期限にご注意下さい。

第55回大会のシンポジウムの内容について

大会におけるシンポジウムについて、以下のテーマが決まりました。

「親密圏と暴力 ドメスティック・バイオレンスと男の性的欲望をめぐる問題群を糸口にして」
< 概要とねらい >

日本社会においては近年、家庭内での女性や児童や高齢者に対する虐待が問題となっている。弱い者に対する残酷な暴力の増大はむろん許しがたいことであり、その原因を探り、発生を食い止めるための実践的で具体的な対策が考慮されなくてはならない。だが同時にこうした暴力の源泉を問う、あるいは家族という親密圏での暴力の発生を論ずることで射程に入ってくるものを注視し掘り下げていくといった理論的な問題群に関わる社会学的思考を進めていく必要があるだろう。

今回、第一報告者の近藤は、ドメスティック・バイオレンス（以下DV）の実態について、北海道内で被害者のためのシェルターを造り運営してきた体験に基づき実践的な立場から報告する。シェルターの果たす役割を紹介しながら、DV体験は女性に何をもたらすのか、何がそこまで女性たちを追い詰め無力化させてしまうのか、なぜなかなかそこからの一歩を踏み出すことができないのかなど、共依存と暴力による支配の構造が錯綜する臨床的な現場で起きていることを厳しく問う報告となると思われる。

第二報告者の川畑は、ホステスクラブでの参与観察調査によって得た知見に基づいて報告する。DVは夫婦や恋人など親密な関係にある男女の間で起きる暴力であるが、ホステスの職場はその性格上、親密な関係が偽装され演出される場であり、男性の卑俗な欲望とそれに基づく暴力を目の当たりにする機会の多い場所である。この擬似的親密圏は、例えば、DVが反復される構造や被害者の女性がアイデンティティを喪失していく経緯などを考察するデータを得るのに格好のポジションといえる。

第三報告者の井上は、性的欲望とその処理に関わる新しい文化構築の試みのいくつかについて実証的に検討している。今回はその成果の一端を紹介しつつも、以上二報告を踏まえて暴力と親密圏の関連に関わる問題群の整理を重視した報告をする。親密圏（intimate sphere）とは「具体的な他者の生/生命 とくにその不安や困難に対する関心/配慮を媒体とする、ある程度持続的な関係性を指すもの」（斉藤純一）とされるが、このような親密圏として多くの場合、男女のカップル（とその子ども）からなる小家族が想定されてしまうこと自体が問われねばなるまい。女性の自尊感情を打ち砕いてしまう男性の暴力とは家父長制の影響の濃厚な表出行為であり、「男の沽券」のようなジェンダー規範を生み出してしまいう近代社会システムの基本構造に本質的な問題が潜んでいるとも考えられよう。

先鋭的研究をしているコメンテーターの協力をも得て、親密圏を家父長制権力とそれに起因する暴力から自由なフレキシブルなものとしていく可能性を探り、あずましい共生社会を構想するための議論ができるシンポとしたいと考えている。（文責：井上芳保）

組織者：井上芳保（札幌学院大学）

司会者：原俊彦（札幌市立大学）

パネリスト：

近藤恵子（「NPO 法人女のスペース・おん」代表理事）

「ドメスティック・バイオレンスの現場について：シェルター運営の体験から」（仮題）

川畑智子（北海道大学医学研究科客員研究員）

「擬似的親密圏にみる男性の欲望と暴力：参与観察によるホステスの研究から」（仮題）

井上芳保（札幌学院大学）

「共生のためのあずましい親密圏を探る：新しい性欲処理文化の検討を通して」（仮題）

コメンテーター：

2名（できるだけ北海道社会学会の会員）について交渉中

第55回大会の一般報告(自由報告)の申し込みと報告要旨の提出について

- (1) 一般研究報告ご希望の方は、下記の要領に従って、**4月7日(土)(必着)**までに事務局へ申し込みをして下さい。申し込みは、作業時間短縮のため、原則として、e-mail でお願ひします。北海道社会学会のホームページより報告申込用紙をダウンロードして記入後、**添付ファイル**でお送り下さい。ただし、これまで通り、e-mail 以外の方法による申し込みも受け付けます。ファックスまたは郵送の場合は、このニューズレターの裏表紙にある報告申し込み用紙をコピーしてご利用下さい。若手はもちろん、中堅、ベテランの方にも是非ご発表をご検討いただきますようお願い申し上げます。未整理のアイデアの段階の方も歓迎いたします。奮ってご応募下さい。

【申込先】

e-mail: socio@npo-hokkaido.org (事務局担当者 **松本**)(添付ファイルで)

FAX: 011-261-6524 (TEL: 011-204-6523)

郵送: 〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

北海道NPOサポートセンター内 北海道社会学会事務局

- (2) 一般研究とシンポジウムの報告要旨の提出期限は、ともに**5月12日(土)(必着)**です。報告要旨は、word 文書またはテキスト形式の次の書式で記入し、メール(添付ファイル)で送信またはフロッピィを郵送していただくとともに、ワープロ印刷原稿を折らずに封筒に入れ郵送で提出願ひます。

【書式】A4版1頁40字×40行を2枚までとします。1枚目は上7行を使い、報告のタイトル(および副題)〈印字ポイント14~12〉、所属と氏名〈印字ポイント12〉を記入して下さい。なお、本文は〈印字ポイント10.5〉でお願ひします。文字フォントは、和文は明朝体、欧文は century を使用。ページ設定における余白は、上25ミリ、下25ミリ、左25ミリ、右25ミリにして下さい。なお、要旨集のフォーマットは北海道社会学会のホームページよりダウンロードできます。

【報告要旨の送付先】

e-mail: shoko@hmjc.ac.jp (添付ファイルで)

【報告要旨フロッピィと印字原稿の送り先】(印字原稿は、報告者全員が提出願ひます)

〒001-0022 札幌市北区北22条西13丁目

北海道武蔵女子短期大学 梶井祥子

【開催校連絡先】 TEL: 011-726-3141(代表) FAX: 011-726-3144(代表) (梶井宛)

- (3) プロジェクトをご使用いただけますが、映らないと困るのでできればご使用のコンピュータをお持ち下さい。

(大会期間中の託児サービスについて)

両日とも会場の北海道武蔵女子短期大学で保育します。費用は利用者負担でお願ひします。金額は子どもの人数によって変わってきます。また、託児時間にご注意下さい。初日の昼食時と懇親会、二日目の昼食時には託児サービスはご利用になれません。保育が必要な方は、5月19日までに、古村宛にメール(eriko@iwa.hokkyodai.ac.jp)がファックスでお願ひします。

理事会報告

2月27日開催の第2回理事会において、以下のことが議論され、決定されました。

報告

1. 研究活動委員会報告

第55回大会におけるシンポジウムのテーマが、「日本社会における『暴力』の問題」(仮題)に決まり、詳しい内容および人選について検討していること、大会期間中の託児サービスについて従来どおり対応できることが報告された。

2. 編集委員会報告

『現代社会学研究』第20集への自由投稿論文が8編提出され、査読の結果7編が修正の上掲載される予定であること、書評対象として3点をとりあげ、すべてリプライ付きになることが報告された。

3. 庶務報告

NEWS 69号を発行したこと、各種アンケートに対応したことが報告された。

議題

1. 選挙管理委員会について

4月に実施される本学会役員選挙にむけ、選挙管理委員会を発足させることが決定され、規定にもとづき3名(うち1名は現理事)の人選を行った。審議の結果、中田知生、品川ひろみ、小内透(理事)の各会員に委嘱することが決まった。

2. 西日本社会学会との協定に関わる諸課題について

前回理事会および編集委員会での検討をふまえ、以下のことが決定された。

他学会の会員の投稿論文の取り扱いについては、それぞれの編集委員会のやり方を尊重する。抜き刷りの部数・金額、査読・審査の方法等については、学会によって異なってもかまわない。北海道社会学会は従来通りのやり方を続ける。論文投稿の資格要件である、会費納入の有無については、互いの学会事務局に確認する。自らの学会誌の投稿論文募集に関する情報は、自らの学会ホームページ上に掲載する。

3. その他

名簿作成に関して、4月以降の異動の情報を反映させるため、発行の時期をずらすことが決まった。

会員異動(2007年3月現在)

《退会》

板橋亮平

会費の納入について

未納分会費について、同封の郵便振替用紙[郵便振替口座02760-3-3085]にて振り込み手続きをお願いします。年会費は一般会員6,000円、学生・院生会員4,000円です。滞納されている方には、機関誌のお届けができなくなります。5年間滞納されると、自然退会の扱いとさせていただきます。

(『北海道社会学会ニュース』 No.70, March 2007)

専攻領域分類表

1. 社会哲学・社会思想・社会学史	17. コミュニケーション・情報・シンボル
2. 一般理論	18. 社会病理・社会問題
3. 社会変動論	19. 社会福祉・社会保障・医療
4. 社会集団・組織論	20. 計画・開発
5. 階級・階層・社会移動	21. 社会学研究法・調査法・測定法
6. 家族	22. 経済
7. 農漁山村・地域社会	23. 社会史・民俗・生活史
8. 都市	24. 法律
9. 生活構造	25. 民族問題・ナショナリズム
10. 政治・国際関係	26. 比較社会・地域研究(エリアスタディ)
11. 社会運動・集合行動	27. 差別問題
12. 経営・産業・労働	28. 性・世代
13. 人口	29. 知識・科学
14. 教育	30. 余暇・スポーツ
15. 文化・宗教・道徳	31. 環境
16. 社会心理・社会意識	32. その他()

第55回北海道社会学会大会
一般研究報告(自由報告)申込用紙

報告申し込み者 <small>(ふりがな)</small> 氏名		(一般・修士()年・博士()年・研究生)	
所属機関			
連絡先	自宅	TEL	FAX
	所属機関	TEL	FAX
		e - mail	
* 共同研究の場合のみ記入。第一研究者に を付けて下さい。スペースが足りない場合は、罫線行挿入で追加して下さい。			
<small>(ふりがな)</small> 氏名			所属機関
<small>(ふりがな)</small> 氏名			所属機関
<small>(ふりがな)</small> 氏名			所属機関
発表題目			
概要(内容が分かる程度に100字程度で簡潔に御記入下さい)			
OHP 機材の使用 (有 ・ 無) プロジェクタの使用(有 ・ 無)			
<small>(丸を付けて下さい)</small>		<small>(丸を付けて下さい)</small>	
事務局記入	受付: 2007 年	月	日
(e - mail ・ FAX ・ 郵送)			